

● ボンジュール  
*Bonjour*  
 リストワール  
 〈l'histoire〉



vol.24 2012.12.19 発行

いろんな「物語」を  
 織り込みました。  
 じっくりとお楽しみ下さい。

●発行/新潟・フランス協会 ●http://anfrance.com/ ●新潟市中央区東堀通6-1038(丸屋本店内) ●TEL・FAX 025(225)2424 ●編集/会報委員会



2012年4月10日 20周年記念式典当日の風景

## 「Friendship」

会長 本間 強

ヨーロッパの国の理想的な暮らしは「コックはフランス人、警官はイギリス人、技師はドイツ人、銀行家はスイス人、恋人はイタリア人、奥さんは日本人」。逆に最悪のケースは「コックはイギリス人、警官はドイツ人、技師はフランス人、銀行家はイタリア人、恋人はスイス人、奥さんはアメリカ人」というジョークがある。その「食うために生きる」フランス人の国へ11月下旬旅立つことになった。新潟市の「食」をPRするため、パリ、ベルリン、ソフィア、ダブレストを訪問するチームが結成された。

チームリーダーはシルバーホテルの森本総料理長が務められ、和食の料理長など4名のプロと和菓子では丸屋本店の細道技術顧問が選ばれた。私はチームへのお手伝いのためボランティアでベルリンまで同行させて頂く機会を得た。フタを開けてみたらチームメンバーのプロたち全員が新潟・フランス協会の会員でもあった。顔見知りで気安い仲間たち、きっと優れたチームワークを発揮するだろう。

日本でも有数の食材豊富な新潟を、世界に発信できる千載一遇の好機でもある。パリのデモ会場はエッフェル塔のすぐ側、セヌ川にほど近い日本文化会館である。約100名の参加者（チケットは完売）の前でそれぞれの技を披露する新潟のプロたち。日本食や日本酒ブームのフランスの地で、新潟の食をPRするという積極的な姿勢と経験は、食の分野で新潟の大きな資産として活かされて行くものと期待している。

パリ会場には、新潟出身で彫刻家の原田哲男さんや画家の清水伸さんなどパリで活躍する友人がたくさん応援に駆けつけてくれる。心強い限りである。これも新潟・フランス協会発足の頃からの付き合いの賜物で、心から嬉しく会員の皆様に感謝を述べたい。友情とは有難いものである。

ナント・新潟共同復興支援事業

# 桜花一心

プロジェクト



## 1. 最初の一步

2011年11月\_姉妹協会のアトランティックジャパン協会(以下AJ)より、2012年3月11日 ナント市での追悼式に合わせ、写真家の清水重蔵氏が震災後の福島で撮影された桜の写真展を開催したいとのお話がありました。そもそものは、同年7月 清水氏が、姉妹都市交流の一環として新潟市からナント市に派遣滞在され写真撮影を行う中で、震災後の日本・福島、自身が震災直後に立ち寄った福島について話されたことをAJの皆様が記憶されていたことが今回の事業の最初の一步でした。

## 2. 事業スタート

2011年12月\_AJからの申入れにANFもぜひ行動を共にしよう、と巡回写真展(新潟・ナント・福島)の開催と桜ハガキセットによる募金活動に取り組むことを決定。

清水氏により、友人の歌手 加藤登紀子様を始め、伊人 中野道夫様、向田貴子様から題字や俳句のご協力を得ることができ、写真展開催とハガキセット製作を進めました。

協会では、恒例のクリスマス例会、続く新年例会とハガキ募金を即開始し、多くの会員皆様からご理解とご協力を賜りました。また、暮れのクリスマス頃には、AJ沼口理事が国境を越えて新潟までお越し下さり、ナント展に関する綿密な打合せが行われました。

## ナントで行われた福島桜

アトランティック・ジャパン協会  
エオルメ小枝俊恵

2011年3月11日の東日本大震災の後、ナントでも様々な被災者支援活動が行われました。千羽鶴作りエ、チャリティコンサート、パレード等々。そして、震災から1年の2012年3月にナントの日仏協会、アトランティック・ジャパンとして、義捐金を集める以外にできることを模索していました。顔を上げて前進していただくための精神的支援…。そこで、新潟の写真家・清水重蔵氏が震災後の福島で桜を撮影したと仰っていたことを思い出しました。震災後に美しく咲く福島の桜は被災者の眼差しを前方へ導き、ここナントでは大災害にも負けず立ち直る日本人の姿を見せることができるのではないかと、清水氏に

写真展の依頼をしたところ快諾してくださいました。そのような経緯で2月29日から3月19日までナント・ヴェルサイユ島で写真展が実現しました。ポストカード販売に合わせて福島へ届けるメッセージがまとめられ、桜をテーマにした俳句アトリエの実施、3月11日には一日を通して式典が行われました。新種椿「絆」の植樹式に始まり、ナント市助役及び自治体国際化協会会長の挨拶、日仏家庭の子供たちによる日仏の俳句朗読、清水氏による写真説明及び講演会、日仏クラシックコンサート、そして最後に「ふるさと」を合唱して一日は幕を閉じました。新潟・フランス協会の方々、清水氏の写真教室の方々にもお越しいただき、新潟とナントが協力して行った大切なイベントのひとつとなりました。私たちの活動が少しでも被災者の方々にも届いていると心から願っております。

## 2012年3月11日ナント訪問の記

高木 裕

東日本大震災から1年目にあたる、2012年3月11日に、ナント市で日仏の「きずな」を強める催しが行われました。新潟・フランス協会から、私その他に、会報委員長の田中希世子さん、会員で、農場事務局長の奥様の岩場佳代さんがこの催しに参加しました。

会場となったヴェルサイユ島のエルドル館では、これに先立ち、2月29日から3月19日まで、写真家清水重蔵さんの写真展「桜花一心」(Cerisiers en fleurs Fukushima... malgré tout)が開催されていました。

当日は快晴で、午前には日本庭園でナント市花でもある、椿の新種「きずな」kizunaの記念植樹が行われ、椿の専門家のルメールさんから、日仏の友好の象徴としての椿について説明がありました。次に、写真展示場に移り、多くの市民の前で、清水さん自身によ

イト商店

〒951-8068 新潟市中央区上川前通10-1870  
TEL 025-228-2337 FAX 025-228-7715

池住株式会社

〒950-0863 新潟市東区新町2-848-15  
TEL 025-275-5136 FAX 025-275-5139

株式会社 イシカワ

〒956-0801 新潟市秋葉区大蔵738-1  
TEL 0250-22-2000

Uoshoku  
奥ウオシヨク

〒950-0951 新潟市中央区東野450-1  
TEL 025-283-7288 FAX 025-283-7218

ANA  
CROWNE PLAZA  
NIIGATA

〒950-8531 新潟市中央区万代5-11-20  
TEL 025-245-3333 FAX 025-243-0483

学校法人 エイシエカレッジ  
シェパティシエ専門学校

〒950-0911 新潟市中央区豊口2-9-1  
TEL 025-242-0025 FAX 025-242-0026

酒類  
小川

〒951-8041 新潟市中央区本町2-2597  
TEL 025-228-1631 FAX 025-222-1051

小川屋

〒951-8063 新潟市中央区吉町5  
TEL 025-229-0111 FAX 025-222-6831